

入選

ぼくのヒーロー

鹿児島県 伊作田小学校

三年 坪谷 康雅

ぼくにはヒーローがいます。

それは、4年生のりん太ろうさんです。今年の伊作田小は3・4年生がふく式学級です。4年生は3年生のぼくたちをいつも助けてくれます。その中でも、りん太ろうさんは、こまっている友だちがいたら、すぐに助けてくれるやさしいお兄ちゃんみたいで、ぼくのヒーローです。

ぼくは、これまでりん太ろうさんに何回も助けてもらうことができました。

一つ目は水泳のときです。ぼくは水泳が苦手です。きょねんまでは小プールでしたが、今年からは大プールになりました。大プールは足がとどかないので、とてもこわいです。なので、いつも必死になって泳いでいます。

そんなとき、ぼくを一番はげましてくれるのがりん太ろうさんです。全くできなかった平泳ぎが、りん太ろうさんが「カエルのようにうごかせばいいよ」と、手や足の使い方をやさしく教えてくれたおかげで、少しずつできるようになりました。

二つ目は勉強です。問題がわからなくて困っていると、いつもわかりやすく教えてくれます。りん太ろうさんのおかげで、できるようになった問題がたくさんあります。

三つ目は、友だちとけんかをしたときです。落ちこんでいると、いつもはげましてくれます。そして、仲直りの手伝いをしてくれます。

ぼくもりん太ろうさんのように、人にやさしくできるようになりたいと思うようになり、りん太ろうさんが、ぼくにとってのヒーローになりました。そして、ぼくもだれかにとってのヒーローになりたいと思うようになりました。そこで、ぼくなりになることを始めることにしました。

まず始めたことは、弟のお世話をしてあげることです。弟は今年1年生になりました。学校のことや勉強など、まだまだわからないことがたくさんあるので、ぼくがいろいろと教えてあげています。弟から「ありがとう」と言われるととても気持ちがいいです。

次に始めたことは、近所の小さな子たちを守ってあげることです。ぼくは学校から帰ると、近所の友だちとよく遊びます。そのときに、近所の小さい子もよくいっしょに遊びに来ます。その子たちが、ちょっとあぶないことをしそうになったら、すぐにやめさせます。

また、ころんだり、泣いたりしたときには、すぐかけよってはげましてあげます。その子たちがえがおになると、とてもうれしいです。

ぼくは、りん太ろうさんのように、だれかのヒーローにはまだまだなれていないと思います。でも、ぼくにできることをこれからどどんふやして行って、だれかにとってのヒーローとなれるように、小さな親切をつづけていきたいと思います。